

私たち「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

藤井産業株式会社

TOYOPET
SMILE 栃木トヨペット

FUTABA フタバ食品株式会社

文星芸術大学附属高等学校

一般社団法人
栃木県トラック協会

NTT東日本 栃木支店

TOYOTA WOODYOU HOME (株)ドコモCS 栃木支店

シルバーの住まいに窓のいろ
比企ペイント 明光義塾!

栃木県生活協同組合連合会 Smi 普豊建設

for the SMILE 街と人を、もっと笑顔に
K&K環境整備 宮崎喜油株式会社 SUPER XEBIO

医療法人くろさきこどもクリニック、学校法人木嶋学園 みゆき幼稚園、
学校法人真照寺学園 認定こども園くにや幼稚園、学校法人鹿沼幼稚園、
輪王寺附属日光幼稚園、認定こども園 西那須野幼稚園、認定こども園 黒磯幼稚園、
学校法人ペスタロッチ学院 太陽幼稚園、認定こども園 栃木幼稚園、
認定こども園 若葉幼稚園、認定こども園 愛泉幼稚園、八幡台認定こども園、
認定こども園 ふたば幼稚園、学校法人沼田学園 恵光幼稚園、
学校法人壬生学園 おもちゃのまち幼稚園、認定こども園 マロニ工幼稚園、
学校法人妙音寺学園 認定こども園 育成館幼稚園、みふみ認定こども園、
認定こども園 まこと幼稚園、うつのみやこども園 石川幼稚園、
学校法人やまとき学園 認定こども園 金井台幼稚園、
学校法人むつみ学園 認定こども園 むつみこども園、認定こども園 アルス幼稚園、
認定こども園 たから幼稚園、学校法人いのせ学園 やしお幼稚園（順不同）

いのちにハグを。サポーター

カンガルーOYAMA 会長 大久保幸子、立正大学 教授 大竹智、
子ども虐待防止ネットワークとちぎ 代表 福田雅章、
栃木フォスタークリングセンター 代表理事 富山憲夫、歌う海賊団ッ!
NPO法人 レインボー 代表理事 宮田里枝
(一社)栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作（順不同・敬称略）



一般社団法人
栃木県若年者支援機構
代表理事
なかの
中野 謙作 さん

不登校、ひきこもり、非行、いじめの支援から始まった活動が、適応指導教室、プリースクール、若者の居場所等の子どもや若者が求める新たな「場」づくりに発展。就労体験や就労支援を経て新たな事務づくりに着手し、2010年、(一社)栃木県若年者支援機構を設立。行政との協働、県内の民間団体との連携を軸に、切れ目のない支援、隙間のない支援を目指し、子どもや若者のSOSに対応。日夜活動を継続中。

中野さんは27年前からNPOを創設し、困難を抱える子どもや若者の居場所をつくり、支援を続けてきました。「子ども支援」では不登校や高卒認定支援の「寺子屋」、発達障がいに特化した学習塾「ANDANTE」、こども食堂・居場所「キッズハウス・いろどり」のほか、生活困窮者自立支援として宇都宮市の「みやスマ」をはじめとする学習支援教室や訪問学習事業を展開。「若者支援」では、仕事の現場で経験を積む中間的就労訓練「じごとや・じごとや」、就労・自立をサポートする「とちぎ若者サポート

私たちに、どんなことができるのだろう

家族以外の第二者の継続的な伴走が必要

ステーション」と若者のさまざまなSOSに対応できる場を整備。2014年には栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター「ボラリストとちぎ」を受託し、50歳以上のひきこもりの人との相談にも対応しています。

中野さんは、「ボラリストやサポートという入口から入ってくる相談を、最終的な出口の就労や進学につなげるまで、総合的に支援する体制を構築してきました。子ども若者支援のパートだとよく言われます」と笑いますが、困難を抱える子どもと若者の支援は一過性ではなく、一人の子どもや若者との関わりが数年、十数年に及ぶことも少なくありません。

また、中野さんの事業が多岐にわたっていることが多く、子どもたちはそれぞれが異なる環境で育ち、まったく異なる困難を抱え、SOSの発信方法も一人一人異なります。虐待、貧困、不登校、ひきこもり、いじめ、非行、問題行動と言葉で分類することができますが、子どもや

それぞれ異なる事情が背景にある個別の「困難」です。だからこそ、中野さんはこう言います。「子どもや若者の困難は、大学に受かったから終わりではなく、就職をしても結婚しても、子どもができるも終わりではありません。家族以外の第三者が伴走して、継続的に支えることが必要です。特に虐待のトラウマは簡単に消え去りません。だから長期にわたって関わることが重要です」これまでの支援活動から分かってきたのは、困難を抱える子どもや若者の背景に共通しているのは「社会的な孤立」であるということ。問題のある子どもや若者は、家庭に対して「困ったね、出て行ってもらおう」と排除するのではなく、地域と行政、支援団体が協働で見守り続ける体制をつくり、居場所をつくることが求められています。

「時代は逆行できませんが、地域の中にもう一度、継続的・伴走的に関わる人と場をつくっていく。それがとても大事なことです」

「児童虐待かも…」と思ったら、すぐにお電話ください 児童相談所
虐待対応ダイヤル 189

子どもへの虐待のない社会を目指して
下野新聞
子ども虐待防止啓発キャンペーン

虐待ゼロへ いのちに ハグ"を。 とちぎ

企画・制作 下野新聞社営業局
企画監修 栃木県
栃木県警察本部

「NHKの朝ドラ『カムカムエヴリバディ』観てました？ あの大正・昭和の頃の地域が理想ですよ」と話し始めた中野謙作さん。しかし、社会は構造もシステムも大きく変化してしまいました。今、何をするべきか。日々、困難を抱える子どもや若者のSOSと向き合いながら、中野さんは問い合わせし続けています。